

令和3年度 第4回大山崎町社会教育委員会議の報告

- I 日 時 : 令和4年3月29日(火) 午前10時~同11時30分
II 場 所 : 大山崎町役場 3階 中会議室
III 出席者 : 17名
○ 出席委員(6名)
○ 事務局(11名)
教育長・教育次長・学校教育課長・生涯学習課長・歴史資料館長・文化芸術係総括主幹・公民館長・体育館長・生涯学習スポーツ振興係員3名
IV 会議名 : 令和3年度第4回大山崎町社会教育委員会議
V 内 容 : 以下のとおり

【要点】

会議は円滑に執行された。
傍聴希望者なし。

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1 開 会 | 事務局 |
| 2 教育長あいさつ | 教育長 |
| 3 委員長あいさつ | 委員長 |
| ※ 事前配付資料の確認(別紙参照) | |
| ※ 大山崎町社会教育委員会議運営規則により本会議の成立を宣言 | 事務局 |

4 議 題

※ これ以降の進行は委員長が担当

(1) 令和3年度社会教育委員会議関係事業報告について

令和3年度町社会教育委員に関係する内容と実績を報告 事務局

* 質疑応答

<令和3年度第1回乙訓社会教育委員等連絡協議会について>

委員

一堂に会したのは、乙訓社会教育委員等連絡協議会の研修会のみであったかと思う。

委員

本当に楽しい講演であった。最近はオンラインの講演が多いが、私は慣れない。対面で、顔を見ながらの講演というのは良かった。タイトルのおおりに、手を加えたり、手を入れることによって「すき」が「すてき」になるというお話で、レクリエーション（手遊び）を入れながらの楽しいお話であった。ただ、社会教育委員ということから考えると、「楽しい」だけでは物足りないように感じた。

それから、「中山修一記念館」で折り紙のチューリップを2万3千本作ったというお話をされたが、近くにあるのに全く知らなかった。プロジェクターやパワーポイントなどを使用して、映像で見せていただきたかった。

委員

講師について、個性的な人を感じた。何事についても前向きに、楽しく取り組んでいきたいと思いますという観点からおっしゃられ、自分とは随分違うように感じた。

最後のパフォーマンスについて、不思議がっておられる方もいらっしゃったが、私は、あの方なりの、参加された皆さんに対するお礼と解釈した。もう一つの考え方として、お笑い芸人がパフォーマンスとして「あっ」と言わせるようなアドリブをする時があるが、そういう風にも取れた。私は気にはならなかった。非常にユニークな方で、自由に楽しく生きましようというところに共感を覚えた。

委員

お二人が言っておられたように、非常に色々なことを考えておられて、いかに周りを楽しませるか、そのことに心を砕いておられる。本当は、もっと前に講演をしていただく予定が、コロナの関係で延期、延期になっており、今回引き受けていただけるかお願いしたところ、快く引き受けていただいた。パフォーマンスについては、コロナでなかなか講演の機会がなかったことも関係しているのではないかと。

◎各委員が承認

(2) 令和3年度生涯学習課関係事業報告について

事務局

「生涯学習・スポーツ振興係」、「文化芸術係」、「中央公民館」、「歴史資料館」、「町体育館」の順に実績を報告

事務局

*質疑応答

<R1257 次調査 鎌倉時代の井戸について>

委員

調査後は、この場所はどうなるのか。道路の下になるのか。

事務局

残念ながら壊されることになる。埋める場合もあるが、壊される場合もある。この部分については、一部が宅地にかかっており、地盤を補強するために石を撤去することとなった。文化財の全てが保存されることが理想だが、壊されてしまうものについては、しっかりと調査をし、記録として残していく。なお、記録を取るための調査事業の費用は、開発者の負担である。

委員

少々もったいないように感じるが、仕方がないのか。天王山頂上の井戸よりも、こちらの方が古いが、埋めて家が建つということか。

事務局

開発と文化財の保存とでは、相反する価値観でのせめぎ合いがある。国は、文化財について指定制度を採用しており、残すべきものとされた場合には、国の史跡などに指定され、国や府の交付金を得ながら公的に保存していく。あるいは、工事の設計を一部変更していただく場合もある。

なお、記録というと昔は全て手測りであったが、今は、3次元的に画像で記録することができる。そういった作業をして、最終的には、報告書や「文化のつどい」の場等でお知らせさせていただくことになる。

委員

発見された時は、どんな様子であったか。

事務局

発見される前は、田んぼであった。田んぼの地層を1枚ずつ剥いでいくと、鎌倉時代の地面と思われる状況が出てきて、井戸が構築された後、廃井されて埋め戻されている状態であった。手前の石がない状態が写真から見て取れるかと思うが、このあたりの石は、蹴落として中に入れこんでいる。井戸を埋めるとぬかるんでしまう可能性があるため、最初に構築した石を埋め戻して固くした上で、全体を土で埋め戻しているが、最初の宅地の利用があった段階から今のような田んぼに土地の利用を転換する過程で、井戸を埋め戻しているようである。

委員

石は、全て埋め戻したということか。どんな石か。

事務局

地盤の固さを維持するために業者で施工されたようである。石は、堆積岩の類で、乙訓地域ではよく出てくるものである。いわゆる墓石などで使われる花崗岩は、乙訓

地域では一切採れないため、外から持ち込まれる外材の石という位置づけである。この井戸の石は、地元の石である。

<史跡大山崎瓦窯跡環境整備工事（植栽工）について>

委員

瓦窯跡にシバザクラを植えたということであるが、今後も植栽を行う予定か。

事務局

町内各所の緑化事業の一環で、瓦窯についても実施している。国庫補助で瓦窯として遺構表示をしているあたりは、種子吹付けをしている。さらにその周りは、シロツメクサ（クローバー）の種子吹付けをしており、かなり根付いて繁殖している。1年が経ち、緑化が進んでいる。ただ、シバザクラを植栽したあたりは、何故か雑草が繁茂しやすい。定期的に草刈りをしており、ここを中心に美観を保ちたいと考えている。全体をシバザクラにする構想は、今のところはない。

<宝積寺所蔵「板絵著色神像」（重要文化財）修復作業 最終確認について>

委員

宝寺の板絵のことだが、国立博物館にあるが、帰ってくる予定はあるのか。

事務局

重要文化財「板絵著色神像」については、良好な保存環境を維持しないと長期的な保管は難しい。特に、絵画資料のため、湿度などの影響を受けやすく、板が反ったりする可能性がある。今後も京都国立博物館への寄託が続くと思われる。ただ、今後は貸し出しが可能になると思われるので、大山崎町歴史資料館でもお借りして、里帰りして公開することも考えていきたい。言うまでもなく、これについては、所有者の宝積寺、及び京都府とも相談していきたい。

これまでは、動かすだけで顔料が舞う状況であったのが、表面が定着したため、展示は可能になってくるであろう。

<クルマづくり体験教室について>

委員

「クルマづくり体験教室」は、どんな事業であったか。

事務局

ダイハツ工場の方にお越し、公民館の実習室でタイヤなどの部品を展示していただいたほか、工程の映像を上映していただいた。体験では、小学生がレゴブロックの車を作った。組み立てる班、点検する班などに分かれて一つの車をブロックごとに作る体験をしてもらった。

◎各委員が承認

(3) 成年年齢引き下げに伴う成人式の対象年齢について

事務局

* 質疑応答

委員

21 歳にするとか 15 歳にするとか、大山崎町で決めることができるのか。

事務局

「成人式」というものについては、国で定められた式典ではないため、それぞれの市町村の判断で、実施可能である。三重県では、18 歳での開催を予定されており、来年度においては、いきなり 18 歳とすると 20 歳の方の式典がなくなるため、最初の年には 3 つの年齢の方の式典をそれぞれ開催し、それ以降は 18 歳の方を対象に、年 1 回実施する方針を立てておられると聞いている。

委員

成人式を開催しなくてはならないという法律はないかと思う。それぞれ慣習に従って実施されているようで、しなくてもかまわないはずである。ただ、実施しないとなれば、他所は実施しているのに何故という意見が出るであろう。

委員

改めて、今回 20 歳とすることを町長決裁で確認するという意味で、実施について決めなくてはならないのか。

事務局

成人式のための着物のレンタルや美容室の予約は、かなり前から予約をされているようである。なるべく早い時期に決定させていただき、町民の皆さまに広報することで準備していただける。定例教育委員会でも検討し、これまでどおり 20 歳で開催すると決定できればと考えている。

委員

令和 3 年に呉服屋の前を通った際、「令和 5 年成人式予約承ります」とあって、こんなに早くからと驚いたが、先日通りがかった時には「令和 6 年成人式予約承ります」とあった。関係する業者にも影響があるのであろう。

委員

20 歳で良いように思う。

委員

私もそのように思う。2市1町で同級生が一緒になることも多いので、同窓会という意味でも同じタイミングが良いのではないかと思う。

委員

18歳というと、ほとんどの方は高校に進学するので、1月というと大学入試の真っ最中で成人式をすることになる。1月ではなく、4月に実施することも可能かもしれないが、現実的ではないであろう。高校卒業と同時に開催しても、参加できる人数がかなり限られてくると思われる。成人年齢の引き下げに伴い、色々なことが関係しているようだが、様々な意見があって混乱する。

◎各委員が承認

※ これ以降の進行は事務局が担当

5 その他

社会教育に関し4点報告

事務局

- ① 町議会3月定例会一般質問
- ② 新年度予算に関する事
- ③ 新規事業及び廃止事業について
- ④ 押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

* 質疑応答

委員

予算と関連しているかはわからないが、公民館の将来について、様々なご意見が出ているようである。現在どのようになっているのか。進行状況、プロセスについて、簡単でよいので説明いただけないか。

事務局

ただいまのところ、公民館の建設に関しては総務課が進めており、ワークショップを開催し、町民の方のご意見をお伺いする場を作っているところである。それに基づいて、今後、基本計画を策定する予定となっている。基本設計に入るにあたり、連携を図りながら状況等の確認に努めたい。

委員

昨年、町民の意見を聞くと広報で見たように思うが、コロナもあり、話し合いが進んでいないように感じている。決まっていることは、特になのか。

事務局

所管は総務課ですが、先日、計画案に対するパブリックコメントを募集しており、それを踏まえ、次年度に基本設計を作成されるようである。

6 閉会あいさつ

副委員長